

149
4R

WD 24
156267

機關砲第三百三大隊

自一月廿一日
至一月廿二日

戰聞詳報

昭和二十一年一月

第三師團第二聯隊

RS 95396
Cincinnati, Ohio
D-27179

第三十三軍司令部	第一連	第二連	第三連	第四連
第三十三軍司令部	第一連	第二連	第三連	第四連
第三十三軍司令部	第一連	第二連	第三連	第四連
第三十三軍司令部	第一連	第二連	第三連	第四連

一 敵素態前二於ケル彼我形勢ノ概要
 二 部隊行動ニ影響ヲ及ホシタル氣象地形ノ

三 彼我ノ兵力敵ノ編成裝備素質及戰法

四 各時機ニ於ケル戰鬥經過關係部隊ノ動向及

連絡施設ノ狀態

五 戰鬥後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

六 將參考ト成ルルヤ事項

七 附表

陸地既薄遠言地圖(要圖)

戰三經過地圖

人員損傷一覽表

兵器器材損傷一覽表

6. 彈藥損耗一覽表
 7. 兵力一覽表
 8. 要兵器一覽表
 9. 人命一覽表
 10. 戰中參加人員一覽表



其(一)

部隊編成 機隊砲隊百三大隊、昭和十九年七月二十日東部第七六部隊
 及機隊到着 二於二編成二着手、同月二十三日編成完結、同月二十四日干

葉出發、同年八月十日北霸港二揚陸(部隊、兵力及主
 要兵器附表第七及第八、如左)

爾後部隊
 行動現在
 任務

大隊、地球作命、甲第貳、三、及山作命、甲第參、係二依リ、沖
 繩北飛行場、直接防空二任、其間陣地、構築一〇一〇
 南西空襲及、台湾沖航空戰二參加、其後引續、陸地
 構築、北飛行場、直接防空二任、着手居リタル處

昭和十九年十月二十日山島作命、甲第拾、係、並、黃英作命、甲
 第拾四、係、作命、甲第六、係、二依リ、北霸港、及、北霸港、附
 近、防空二命セラル、大隊、八、及、神、東、南、北、沿、岸、線、二陣
 地、二構築、其、第一、中、隊、二、若、後、可、基、地、附近、二、第二、中、隊、
 被、襲、害、西、南、側、高、地、二、第三、中、隊、二、西、南、側、基、地、附近、二

教育訓練
状況及基盤

ソレ陣地ヲ占領セシメテ接防空三任シツアリ其配備並
池部隊ノ関係位置圖表第一ノ如シ
既ニ八月十日任地到着ニ其ニ適地構築ヲシテ教育訓練ニ
関シテハ基礎訓練ヨリ如ク遂次分隊小隊中隊教練ニ
及ビ九月下旬ニ大隊教練ノ訓練域ニ達スリ 偶十月十日
南西空襲及シテ湾沖海空ニ参加シ其訓練ノ成果ヲ十分ニ
發揮スルニ共得タル戰訓ヲ活用シ以テ自下教育訓練ノ度ハ
精神方面 戰技方面共ニ強烈ナル戰果ニ十分其戦力ヲ發揮
スルニ程度ニアリ 尚昭和十九年度入隊現役兵ハ第一期ノ
教育末期ニシテ概ネ古年ノ兵ニ伍シ戰果ニ参加出来得ル
程度ニアリタリ

築城度

大隊ハ三月十日現在地ニ到着後銳意任務ニ應ジ得ル陣
地構築ヲ專念シテ空三對シテ海軍ヲ完全ニスルト共ニ
爆撃ニ對シテノ損害ヲ限スルニ急ニ奉リ利用掩蔽等ヲ
興スルニ努メテ島地ノ防禦力ヲ高メテ島地ノ安全ヲ保ツル
一月三日四日ハ空襲以後南西諸島全般ニ渡リ殆ト五日ノ
如ク敵機ノ偵察行動及ビ島作戦ヲ牽制スルカ如ク行動
アルヲ以テ部隊ハ休宿等ノ間ニ於テニ空監視ノ人員ハ
警備ニ注意シ人員ヲ配置シテ南大特ニ掃蕩時ノ
警戒戒ヲ三嚴ニシタリ

戰前
形勢

敵形勢
概要

敵航空諸機ヲ綜合スルニ最近特ニ比島作戦開始
後ニ於テ敵機ノ状況ハ甚ダ活発ナルモノノ如ク最近ハ南西諸
島附近ニ敵機活動頻々接シタリ

最近
敵機
状況

一月十七日 〇九四〇〇〇ノミナミ那覇ニ向テ東高途
一六三〇敵機三群ハ補助艦ヲ增強シテ
似藤南支那海及シテ灣東才海面ニ遊ビタリ
一月十八日 一三〇〇〇ノミナミ那覇ニ向テ東高途
偵察機後ニ三機ニ飛去ス

一月十九日 一二七五高島より一機高飛大々の東進機見發

一月二十日 一二三八より五機八重山列島西北進中

二 奇隊行動ニ影響ヲ及スル氣象地形ノ状態

一月二十一日 八時後晴午後薄曇但し雲變時ハ晴風向南々

一月二十二日 四時日出ハ六五〇ニテ敵機ノ未襲ハ

一三四ニテ即チ太陽ノ影最強クテ始メタル頃ニテ敵ハ

其陽光ヲ背ニシテ侵入ス我諸動亦ヲ眩惑セシメント企圖

シタリト如シ

一月二十三日 八時後々ニ白雲アリ夕刻ニナリテ薄曇トナル風向

南々東風速一ノ二米ニテ視界比較的良好ナルヲ以テ敵

高々度ヨリ攻撃目標ニ選定シ一旦雲中ニ入り我監視

段ニ感マシ雲中ヨリ突如急降下シ我目標ヲ攻撃シ若干ナリト

モ我射空砲火ニ依リ受ル損傷ヲ減少セント企圖シタルモ如シ

陸地附近地形ハ西八百米ニシテ海面ニ臨ミ東北角ハ一帯

陸地本前及各中隊ハ陸地ノ北西端ニ於テ

一二ノ機ヲ完全ニスル共ニ一月三日四日ハ空襲ニ於テ

訓ニ甚キ陸地ニ精備整化シ加フルニ停装ハ連日之ヲ強

徴度ニシテ戰半時ニ於テ陸地ノ強度ハ殆ト完全ニ

三 彼我ノ兵力敵ノ編 裝備 素質及 戰法

一月二十一日敵來襲時ニ於テ我兵力ノ精銳ハ十六名下士官五十二名

兵三百八十三名 主要兵器ハ九一式高射機四挺十八門ニシテ

將校以下志氣極々旺盛且各兵器向ニ正確射撃良好ノ一〇二五六

南西諸島全地区ニ内務戰備ハ令セラレ一〇二〇ニハ油繩全地区ニ

空襲警報發令 敵機本島ニ襲ハ一四〇即チ其間約一時間

分、餘裕ヲタル等我三消利ナル者有テリ(戰ニ参加人員及主要兵

器一覽表附表十頁ノ如シ)

敵ハガランニテ日機上ニテ其ノ以備セル兵器ハ三挺(二十挺機関

砲ト判断セリ機彈ハ二十五挺ト思ハルモ一機四箇砲ヲ携行シヤリ

一月二十日
天候及之ニ
基テ敵行動

一月二十三日
天候及之ニ
基テ敵行動

陸地附近

タルモノ、如ク銃撃及爆撃ノ技術ハ、
一月二十二日敵未撃ノ時ニ於テハ、我々及主隊兵隊ノ前日ト同ク部隊志
氣ハ略日ノ今日トシテ、
旺盛既ニ敵ヲ敵キタルノ感アリ

敵ハ昨日ト其編成ヲヨクニ察スルニ、
セル近約セヨク機ニシテ其技術セルハ、
爆彈ハ三五発ノ上判断セラルモ、
タルモノ、如ク、尚敵ハ四〇発口、
戦ミ奉ケリ

敵ハ昨日ハ陽光ヲ背キニ機ニシテ、
ル小隊飛行場ヲ攻撃セルモ、
真ニニ敵機隊ニ別レ敵方ヨリ同時ニ攻撃ヲ開始シ、
高度ヨリ攻撃、目標物ヲ選定シ、
目標物ヨリ敵機ノ離レタルニ其機ヲ利用セラルルハ、
敵ハ昨日ハ陽光ヲ背キニ機ニシテ、
ル小隊飛行場ヲ攻撃セルモ、
真ニニ敵機隊ニ別レ敵方ヨリ同時ニ攻撃ヲ開始シ、
高度ヨリ攻撃、目標物ヲ選定シ、
目標物ヨリ敵機ノ離レタルニ其機ヲ利用セラルルハ、

全ノ同一ナルヲスル敵機ノ飛行
四 各時期ニ於ケル戦半經過關係部隊ノ勤及連絡
施設状態

一月二十日部隊ハ第六命令中第六拾五号ニ球高機命令中第五拾八号ニ依リ
〇五一二警戒心姿勢ヲシテ轉移シ拂曉ノ戦半準備ヲ遺忘ナカシメル
共ニ戰ニ訓練ニ実施シ精度速度ノ向上ヲ謀ルタル共ニ兵器運集
ノ整備修裝ノ再々檢等ヲ為シ敵機運集準備ノ全ヲ期シ
アリタル處、
〇八〇〇〇〇一機嘉手納灣ニ空ニ発見、大隊長ハ直ニ戦半姿
勢ヲ命令スルト共ニ別談命令ヲ下達シ部隊將兵一同好敵表タルト
一段ト志氣ヲ高メタルモ遂ニ敵ハ近接セズシテ遠方ニ機影ヲ
没ス、大隊長ハ直ニ急降ヲ自薦ニ対スル訓練ヲ実施スルト共ニ
爲彈藥ニ整備ナシ、
戰半指揮所ヨリ指導ス、
其後敵情ニ関シテ新報ヲ得サルニ依リ

予派命申勇大拾七號一球高作命申第六拾五號(二夜)部隊の警急
姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
ノリルル處 一一〇五軍高射砲隊 球高作命申第六拾五號(二夜)警
急姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
中ノ情報下共ニ軍高射砲隊ハ球高作命申第六拾五號(二夜)警急
姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
大機 三二〇〇才向ヨリ高度一五〇〇 航速一二〇ヲ以テ来襲
小架飛行場ヲ一回也同レタル後ハ機ト三機ト別レ三二〇〇才向ヨリ
大機三機ハ機同レタル小架飛行場ニ降下氣暴撃ヲ敢行セリ
第一四隊第五隊ノ陸地ヨリハ直距離二〇〇〇米以上ナルヲ以テ射撃セズ
第三中隊ハ後ノ二機ヲ捕捉一機ヲ十四発 航速一二〇 距離一六〇〇ヲ
以テ中隊同時射撃セルルモ先頭機ハ命中彈ヲ受テ白煙ヲ吐キ機体安
定ヲ保持スルニ當リ一機ハ機同レタル小架飛行場ニ降下氣暴撃ヲ敢行セリ
二〇島ニ敵ノ第三支隊ノ中ノ情報下共ニ軍高射砲隊ハ球高作命申第六拾五號(二夜)警急
姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
ニ其也者ヨリテ次期戦車ニ對シテ準備ヲ為サシメ敵ノ不意ヲ襲
ニ對シテ万遺憾ナキヲ期セリ 一七〇〇軍ハ警急報告ヲ解除セラル
部隊ハ球高作命申第六拾五號(二夜)部隊の警急姿勢に三機行の訓練ヲ
実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地ニ對シテ準備ヲ為サシメ敵ノ不
意ヲ襲ニ對シテ万遺憾ナキヲ期セリ 一七〇〇軍ハ警急報告ヲ解除セラル
移行セルモ大隊長ハ諸情報ヲ綜合シ判斷シ射撃監視ハ警急姿勢
勢乙ノ人員ヲ配置セシメ 尚ホ三機ノ遺骸 遺骸無キヲ期ス
命シ以テ明拂曉ノ戦車準備ノ万遺憾無キヲ期ス
一月二十二日(五)五時於命申第六拾五號(球高作命申第六拾五號)依リ
大隊ハ警急姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
訓練ヲ實施シ一彈必墜ノ信念ヲ強リタル處 〇六三五軍ハ空襲警急
報告令セラル 同時與座岳地莫一三五度四〇并敵隊編隊近接中
情報下リ 大隊長ハ直ニ戦車ニ對シテ警急報告ヲ敢行セリ

予派命申勇大拾七號一球高作命申第六拾五號(二夜)部隊の警急
姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
ノリルル處 一一〇五軍高射砲隊 球高作命申第六拾五號(二夜)警
急姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
中ノ情報下共ニ軍高射砲隊ハ球高作命申第六拾五號(二夜)警急
姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
大機 三二〇〇才向ヨリ高度一五〇〇 航速一二〇ヲ以テ来襲
小架飛行場ヲ一回也同レタル後ハ機ト三機ト別レ三二〇〇才向ヨリ
大機三機ハ機同レタル小架飛行場ニ降下氣暴撃ヲ敢行セリ
第一四隊第五隊ノ陸地ヨリハ直距離二〇〇〇米以上ナルヲ以テ射撃セズ
第三中隊ハ後ノ二機ヲ捕捉一機ヲ十四発 航速一二〇 距離一六〇〇ヲ
以テ中隊同時射撃セルルモ先頭機ハ命中彈ヲ受テ白煙ヲ吐キ機体安
定ヲ保持スルニ當リ一機ハ機同レタル小架飛行場ニ降下氣暴撃ヲ敢行セリ
二〇島ニ敵ノ第三支隊ノ中ノ情報下共ニ軍高射砲隊ハ球高作命申第六拾五號(二夜)警急
姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
ニ其也者ヨリテ次期戦車ニ對シテ準備ヲ為サシメ敵ノ不意ヲ襲
ニ對シテ万遺憾ナキヲ期セリ 一七〇〇軍ハ警急報告ヲ解除セラル
部隊ハ球高作命申第六拾五號(二夜)部隊の警急姿勢に三機行の訓練ヲ
実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地ニ對シテ準備ヲ為サシメ敵ノ不
意ヲ襲ニ對シテ万遺憾ナキヲ期セリ 一七〇〇軍ハ警急報告ヲ解除セラル
移行セルモ大隊長ハ諸情報ヲ綜合シ判斷シ射撃監視ハ警急姿勢
勢乙ノ人員ヲ配置セシメ 尚ホ三機ノ遺骸 遺骸無キヲ期ス
命シ以テ明拂曉ノ戦車準備ノ万遺憾無キヲ期ス
一月二十二日(五)五時於命申第六拾五號(球高作命申第六拾五號)依リ
大隊ハ警急姿勢に三機行の訓練ヲ実施以テ一彈必墜ノ心物西面ノ丹麥地
訓練ヲ實施シ一彈必墜ノ信念ヲ強リタル處 〇六三五軍ハ空襲警急
報告令セラル 同時與座岳地莫一三五度四〇并敵隊編隊近接中
情報下リ 大隊長ハ直ニ戦車ニ對シテ警急報告ヲ敢行セリ

且通信連絡ニ依リ別紙命令ヲ下達セリ
又大隊長ハ追撃ヲ禁
シト共ニ彈藥ノ極力節用ヲ注意シ與ヘリ

○六五〇グラムF6日七機一六〇〇方向ヨリ高度八〇〇ヲ以テ普賢町
民家ヲ銃撃シテ来ルヲ 第一中隊捕捉シ中隊同時発射ニ発射ニ〇発
ヲ発射スルヲ二番機ハ右翼ニ命中彈ヲ受テ速度低下シ支ノ宮上空
於テ六〇〇〇方向ニ逃走ス遂ニ編隊ヨリ離レ行クヲ自撃セルモ戦果不明
(射撃諸元ハ戰事経過要圖ニ一表ニシテ附シアリ)

○七三〇 六〇〇〇方向ヨリT日F四機第一中隊陣地附近ニ着陸
ル機帆船ニ高度七〇〇ヲ以テ銃撃ヲ散行シ来ルヲ中隊同時発射
一発射ニ八発ヲ浴セルヲ編隊ヲ解キ一六〇〇方向ニ脱去ス
内一機ハ命中彈ヲ受テ安定ヲ失シ同方向ニ逃走スルモ戦果 程度不明
○七三四 一八〇〇方向ヨリクーチスSBCニ機高度一〇〇〇ヨリ第一
中隊陣地ヲ襲撃ス 第一中隊ハ同隊同時一発射六〇発ヲ発射ス
一番機ハ胴体ニ命中彈ヲ受テ煙ヲ噴キ五〇〇〇方向ニ脱去 余中隊

○七二五(一)〇〇〇〇間F6日延三機小隊ニ機場ヲ銃撃セルモ
我射撃圏外ニ為隣接セル他部隊ニ撃墜シマカセ我ハ次期目標ニ選
定ニ専念ス 此間大隊長ハ敵ハ必ス雲中ヨリ急降下スルヲ以テ特ニ
警ニ注意セシメ待テ撃テ射撃ヲ命シ撃墜ニ努カセシム
○八〇七グラムF6日F四機上空ヲ施回シ八〇〇〇方向ヨリ急降下飛行場
港灣ニ銃撃シ来リ我々方向ニ逃走セントスルヲ第二第三中隊捕捉
第二中隊ハ中隊同時発射一発射ニ八発 第三中隊ハ同々中隊同時一
発射ニ〇発ヲ発射スルヲ二番機及三番機ハ胴体並右翼ニ夫々命中
彈ヲ受テ機体動搖シ速度低下スルモ其儘我々方向ニ脱去 戦果不明
○八一五F6日十二機三二〇〇〇方向ヨリ高度一三〇〇ヲ以テ第一中隊陣地
上空ヲ通過セントスルヲ捕捉中隊発射三三発ヲ浴セルヲ編隊ヲ解テ六〇〇
方向ニ脱去ス 地ヨリ相当有効彈マリタル如ク観測セラレタルモ戦果不明
○九一六F6日十機二八〇〇〇方向ヨリ港灣ニ急降下銃爆セル編隊ノ後
電機機第一第三中隊上空ヲ急降下スルヲ捕捉 大隊長ハ其先頭機

第一第二中隊二目標トシテ與ハ西中隊同時発射必墜ラ命ス西中隊
同時発射一発射六〇発ヲ発射スルモ機体大ニ動揺シ一時安定ヲ失ヒタ
ルモ急方向ニ遁走ス此頃ヨリ戦況漸熾烈トナルモ部隊將兵志氣
益々盛ニシテ兵器器機等損害ナシ闘志満々タルモナリ
〇九五八三三〇〇方向ヨリTBH四機第一中隊陣地ニ向ッテ来襲セルラ
第一中隊長捕提中隊同時発射三〇発ヲ浴セルヤ先頭機胴体ヨリ火煙ヲ
噴キ安定ヲ失ヒ海上依テ五〇〇〇方向ニ遁走ス撃破一機確度甲ノ説公
一〇一五〇一二二五間ハ我効力圏内ニ入りタル敵機ヲ隣接高射部隊ノ
セ九大隊及一〇四大隊ノミニ交戦ス部隊將兵一同志氣旺盛抑留シカ
タキキリタル處
一二二五四八〇〇方向ヨリTBH十機第二中隊陣地上空ヲ高度一〇〇〇〇ニ以テ
通過セルヲ捕提第二中隊同時発射四〇発ヲ発射スルヤ二機編隊ヲ
離シ火煙ヲ噴キ安定ヲ失ヒ海上依テ三三四〇〇〇方向ニ脱去ス
撃破二機確度甲ノ説公

ヲ更テス
一二四八四〇〇〇方向ヨリTBH五機併ヤ七八機左ニ大ニ迂回シ
大隊本部上空ニ来襲セルヤ第二中隊捕提中隊同時発射一発射
二八発ヲ発射スルヤ編隊ヲ解キ散方向ニ分散遁走ス有効彈相当アリ
ルモ敵ニ與ハタル損害不明
一三〇三一二B日大機左ニ迂回シハ本隊上空ヲ通過セシトスルヤ第二中隊
中隊同時一発射三三発ヲ発射スルヤ二番機二機体ヨリ火煙ヲ噴キ安定
ヲ失ヒ九機ハ消滅シ三機ハ捕提ヲ受テ三機ハ遁走ス一機ハ戦果不明
一三〇五一二B日三機一七〇〇〇方向ヨリ第二第三中隊陣地ニ急襲シ来
タルヲ大隊長ハ第二第三中隊ヲ併セ指揮シ同時発射六〇発ノ一発
射ヲ浴セルヤ二機ハ撃破シ安定ヲ失ヒ且遠力依テ海上ニ逃シタルモ
與ハタル損害不明
一三三六一二B日及D日併テ十機西ノ〇〇〇〇方向ヨリ迂回シハ六隊
本部上空ヲ通過セルヤ第二中隊ハ二中隊同時発射二四発ヲ発射

スルヤ敵ハ敵方尚ニ分散道走ス

一三四〇一六〇〇方向ヨリH6H五機ハ一由敵陣地ニ未幾ス 第一中隊

ハ二由隊同時一具射ニ六発ヲ放シセルヤ其機ハ胴体ヨリ白煙ヲ吐キ
速度低下遂次縮敵ヲ離シ時ニ機体ヲ動揺セシムルハ四八〇〇方向ニ道走ス

ルモ突ハル損害不明

一六二八H6H十機ニ〇〇〇方向ヨリ放シ自標ニ急襲シ未タルヲ第一中

隊同時発射ニ四発第二四隊三〇発 発射第三中隊二四発ハ其々
中隊同時一具射ヲ浴セシヤニ機安定ヲ失ヒ三五〇〇方向ニ道走スルモ

突ハル損害不明

一六四〇一八九四〇ニ至ル間大隊効力圏内ニ入リタルモ其ク敵ハ干

前中ハ勇敵ニ逼進シ突進急降下旋機等セルモ午后ハ高射砲陣
ヲ恐レ高射砲陣炸烈スルヲ編隊ヲ解キ分散ス 然ルモ高射砲機

効力圏内ニ入ラズ 部隊ハ唯然準スルノミ 部隊將兵ハ其氣

ヲ失ハタリ効力圏内ニ入リタル敵機ヲ如何トモスルマタハス

我高射砲司令部第六中隊(二機)ハ敵機ヲ射撃シテ其機ヲ撃墜スル

射司令部訓示ヲ傳達本隊中隊ノ戰訓及大隊ノ戰行勅ニ関スル

注意ノ要旨ヲ且戰半後ノ兵器ノ整理ノ整備 陣地補強 備具ヲ

命シ明機砲ノ戰半準備ノ完全ヲ期スルヲ準備中アリタル處

再一八九三五空襲警報発令セリ 大隊ハ司令部命申第拾六號

我高射砲司令部第六中隊(三機)ノ戰半準備ニ轉移シ初陣必墜ノ意

氣ニ燃エタルモ敵機陣地ニ近接セズ

二二〇〇軍ハ空襲警報解除セラレ 大隊ハ司令部命申第拾七號

球高射砲司令部拾號(三機)ノ警報急變勢ニ移行ス

然レ共対空監視ノ人員ヲ増加シ警報ヲ嚴シムルト共ニ明機砲戰

半準備ノ完成ヲ期ス

五戰半後ニ於ケル彼我ノ形勢ノ概要(其一)

海軍 又大隊警報解除地内ニ異機ヲ認めタルニ依リ大隊ハ兵器ノ整理

海軍 又大隊警報解除地内ニ異機ヲ認めタルニ依リ大隊ハ兵器ノ整理

三人強襲、整備陣地、補強、進退ヲ整備シ、明掃曉ノ戦
止進備ノ兇壁ヲ期セリ

警言急安勢ニ移行後、大隊長ハ本日ノ戦ニ於テハ
高射司令官、訓示及注意ヲ傳達スルト共ニ之ニ基ク大隊長
トシテ注意心及各隊毎ニ戰止行動ニ関スル所見及注意ヲ幹部
以下ニ與ヘルト共ニ進ナニ之カ実行ニ具現ヲ命ス

一月二十一日、二十二日、南西空襲ヲ空襲ニ対シ、赫々タル戦果ヲ
上テタル高射部隊ニ対シ、一月二十三日ニハ

畏クモ御嘉賞ノ御言葉ヲ賜ハリ、同二十七日ニハ
軍司令官ヨリ賞詞ヲ與ハル(別紙)

依テ大隊長ハ同ニ御嘉賞ノ御言葉及軍司令官賞詞ヲ
傳達スルト共ニ高射司令官ノ誓文ヲ即チ部隊ノ誓文トシ

テ之カ実行ノ具現、対策ヲ樹立シテ、敵將校以下ニ誓言セシメ
以テ將兵共ニ奮志益々訓練ノ精進ヲ期シ、聖旨ニ答ヘ

其ノ二

一月二十一日及二十二日、台湾及南西諸島ヲ空襲セル敵機ハ第
二十八機動部隊ニ三機ヨリ、空母十隻、其地五十隻、但、輸
送船ヲ合スニシテ、今尚本島ヨリ約一五〇軒附近ノ海上ヲ遊戈
シルモ、如ク再度、本島ニ侵ルノ公算極メテ大ナリ

大 將來参考ト成ルハ等項

一 極度ノ超低空目標ニ対シテハ待撃固定射撃ニ依ルヲ可トス

二 現在通信各機全然ナシ、爲戰半指揮及之カ指導ニ兼テシメタリ

速ニ整備ヲ要ス

三 敵口ノト爆彈ハ爆彈ト異ナリ、一般火砲ト同様低伸彈道ヲ
畫キ落下シ、効力大ナラス、本部戰艦指揮所及第一中隊陣地附
近ニ各一落下ス

賞詞

右軍高射砲隊長

- | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 高射砲隊司令部 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 | 高射砲隊 |
| 第一 | 第二 | 第三 | 第四 | 第五 | 第六 | 第七 | 第八 | 第九 | 第十 | 第十一 |
| 隊 | 隊 | 隊 | 隊 | 隊 | 隊 | 隊 | 隊 | 隊 | 隊 | 隊 |

右軍高射砲隊長陸軍中佐吉田清一指揮、
 二月二十日及同二十一日米第三十八機動隊南西
 諸島空襲に當り敵機を二百数十機を撃滅すに戰
 捷顯著に功あり、戦果を著し、戦果を著し、
 推して戰果を著し、戦果を著し、戦果を著し、
 戦訓を活用し、長期に亘り不撓不屈の勇氣を發揮
 備し、將兵に戰闘に力す、隊長の確たる指揮に
 部下將兵、沈毅篤實、戰況を隊長に詳請初陣中
 戦闘指揮の具現せし、因に二月二十三日參謀
 總長、戦況上巻之際、長に毛軍二對し御嘉賞ノ
 御言葉ヲ賜ハ、因ラナセリ、

古く戦局日一日進み告ぐ敵機、其襲撃に對し、
 極力、秋彌之軍官民、其勇氣ヲ昂揚シ、益々其ノ
 心勝、信に氣貫通シ、其ノ勇氣ヲ昂揚シ、益々其ノ
 依り、茲ニ賞詞ヲ與フ

昭和二十年一月二十七日

第三十軍司令部
 陸軍大臣
 牛島滿

誓文

本二十七日軍司官閣下「別記」賞詞ヲ拜受ス
誠感激三堪ハス

將兵一同愈々未獲敵米軍ニ對シ一強必堅以テ
負荷ノ重任ヲ完遂セシムト期ス

之カ爲特ニ左記諸項ヲ確守実行具現ス

1. 既往ノ戰訓射擊結果ノ利用並ニ注意ノ履行具現

2. 第一群射ヲ以テ眼前射擊

向「敵」ニ徹シ一群射ヲ行フ(一連)五終射後

口兵器彈藥、整備英檢正(朝)夕將校心(共)會

以テ自信ヲ堅持

3. 戰闘後、審査勵行

由隊長ノ部令敵機ノ行動及射擊ノ状況ヲ記録シ

備シテ報告ス(兵ノ操作ノ正否ヲ戰中ニ審査ス)

再ニ同一報ヲ踏マサル共ニ確乎タル戰訓資料獲得

々々陷ル基本部隊教育ニ對シ徹底的ニ燒キ直ス

之ヲ教官ハ下士官委シテ不可 將校自ら把握ス

故美ヲ其ノ勲受指摘矯正シテ、類回復行

昭和二十年一月二十一日

軍高射砲隊

圖要備配地陣隊大三第砲閔機

日月年十二和昭

12500

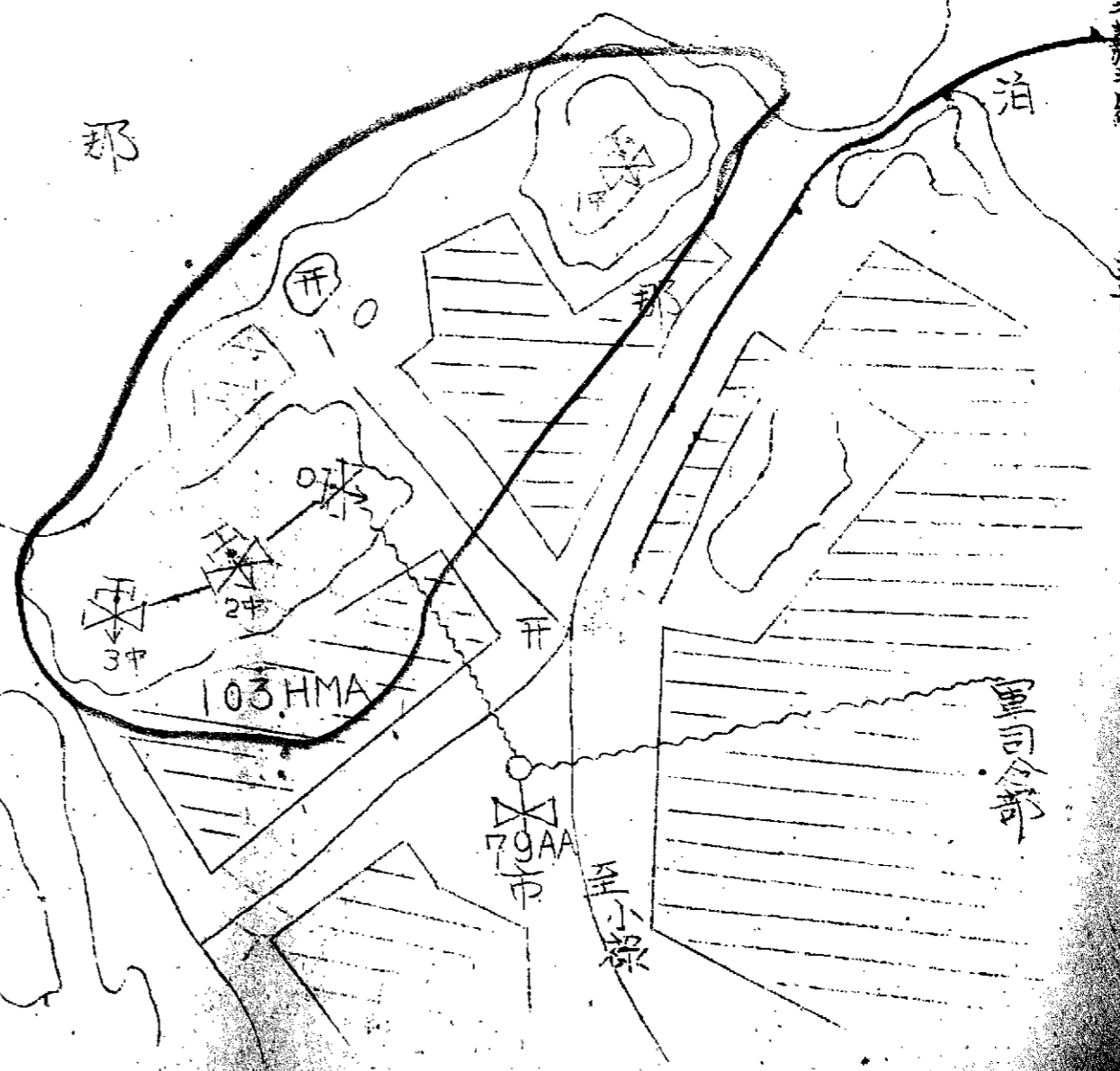
有線
滬傳

港

那

霸

泊



103 HMA

104 HMA

小祿

70AA

司令部

小祿

敵

敵

敵

敵

敵

敵

敵

敵

敵

敵

敵

敵

三

三

第一單元 航路

時間	航路	距離	時間	距離
1	1140	140	4200	0
				1600

戰時空路圖

自一九四一年一月一日起
至一九四一年一月三十一日止



航路

距離

時間

航路

距離

時間

航路

距離

時間

航路

距離

時間

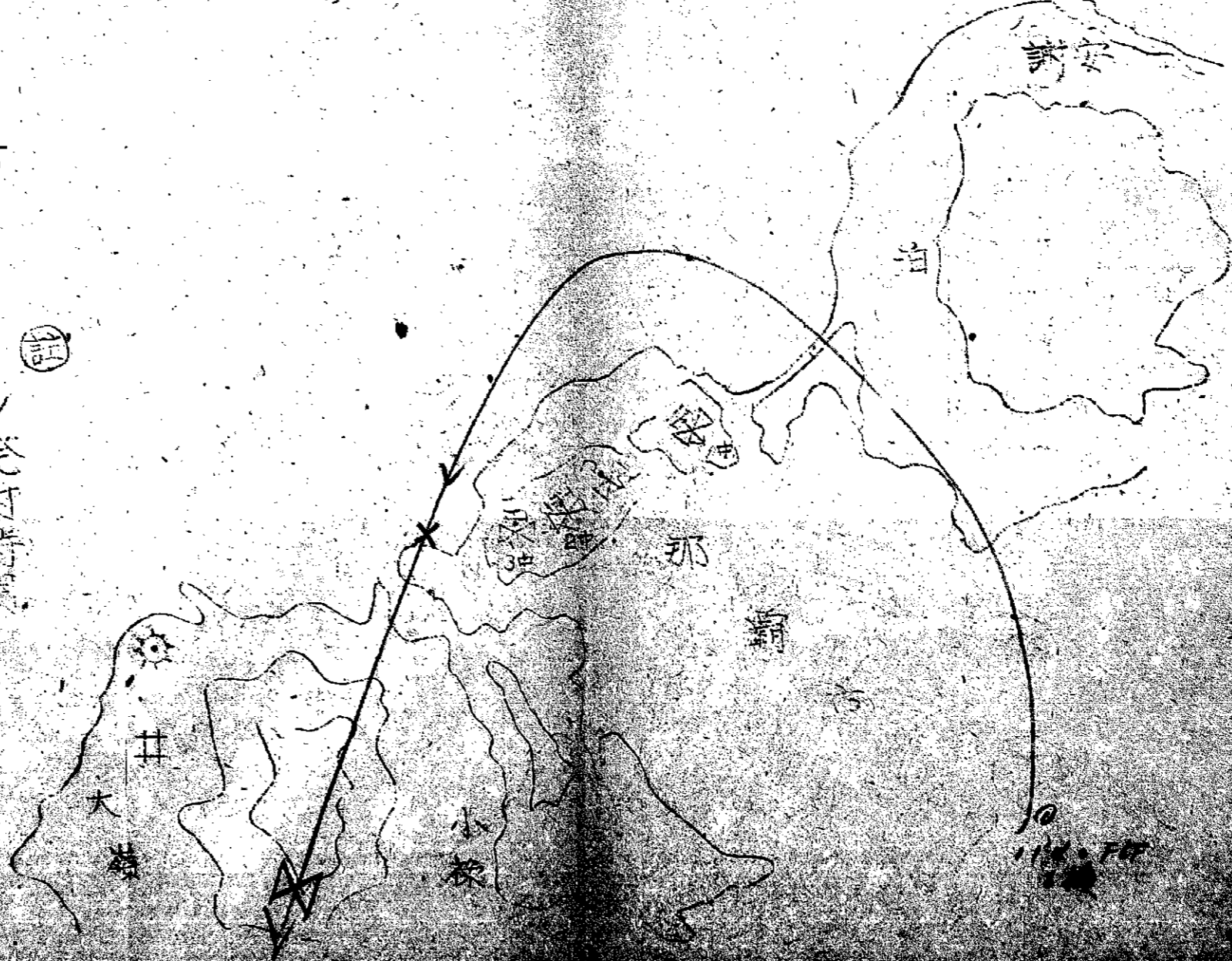
戰國地圖

自十時十分
至十三時十分

25000

○ 國
× 野
▽ 澤

○



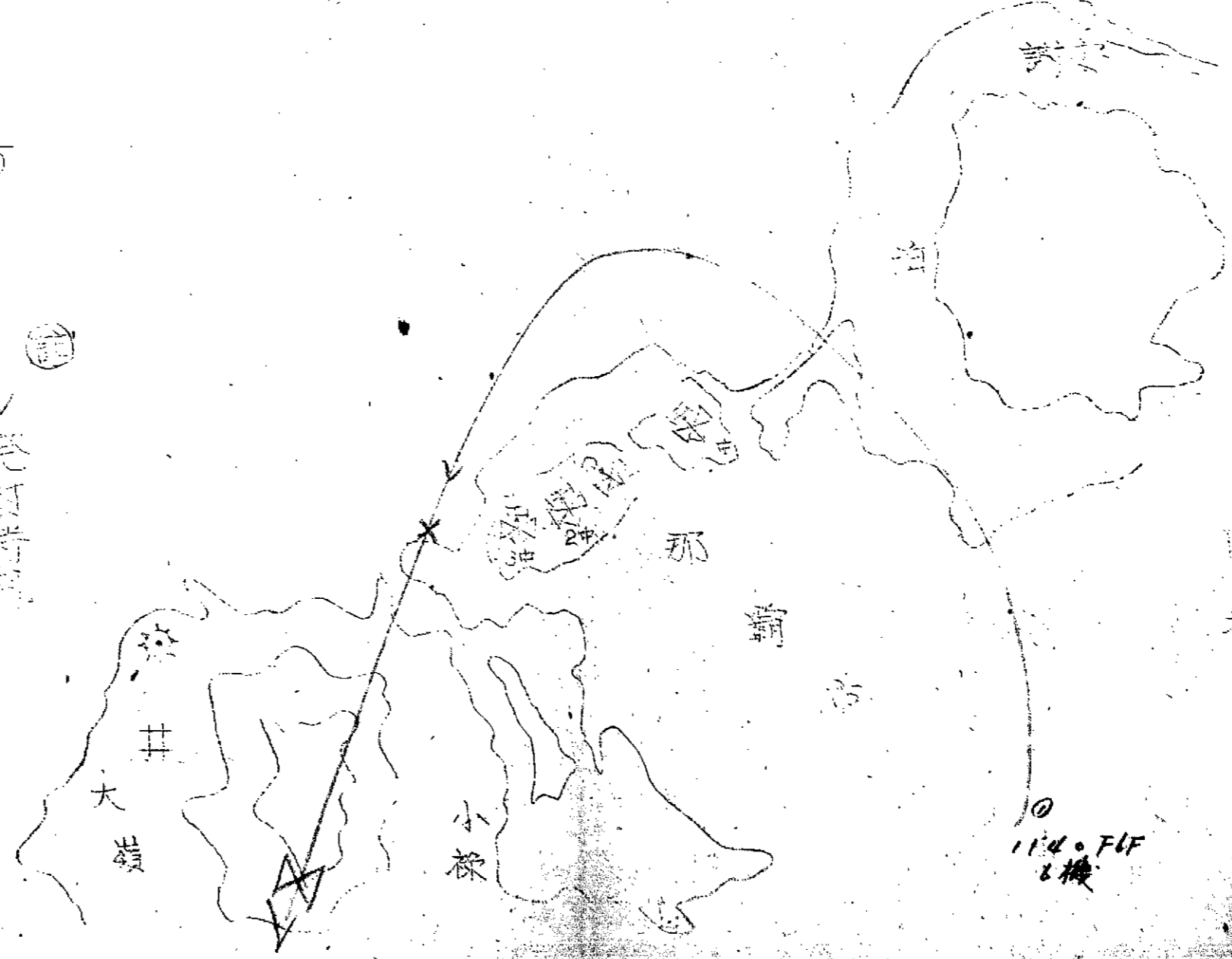
Handwritten notes or a scale on the left margin.

戰開全圖

日十一年一月十一日
十時至十四時

25000

○ 敵機
× 敵機
▽ 敵機



○ 114. F1F
6機

射東諸元一覽表

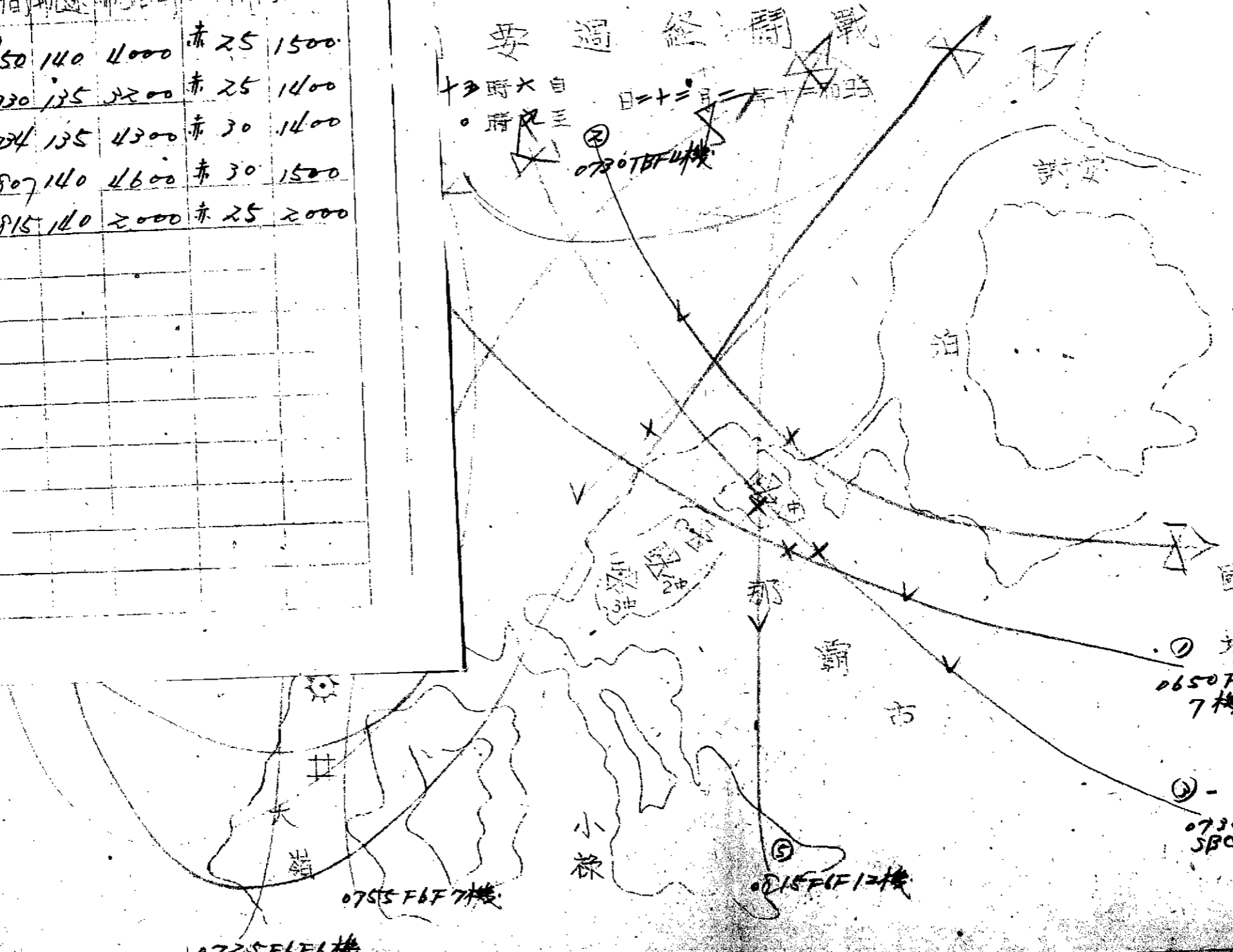
番	時間	航速	航路	距離	時間
1	0650	140	4000	赤 25	1500
2	0730	135	3200	赤 25	1400
3	0734	135	4300	赤 30	1400
4	0807	140	4600	赤 30	1500
5	0815	140	2000	赤 25	2000

要 過 途 關 戰

十時六分
時三

日=十三日
時=三時

0730 F6F 4機



① 場
0650 F6F
7機

② -
0734
SBO 0-22

⑤
0715 F6F 12機

0725 F6F 7機

0725 F6F 6機

戰時空路要圖

自六月三日起
三時

日=十三

